

「鹿追町地域公共交通総合連携計画策定調査業務」実施仕様書

鹿追町地域公共交通活性化協議会

この仕様書は、下記委託業務を実施するにあたり必要な事項を定めるものとする。なお、仕様書の取り扱い、仕様書の内容について、疑義が生じた場合は事務局担当の指示による。

1 委託業務

鹿追町地域公共交通総合連携計画策定調査業務（地域公共交通活性化・再生総合事業）

2 実施目的

（1）鹿追町の概要

鹿追町は、北海道の屋根といわれる大雪山系と日高山脈を境として太平洋に広がる十勝平野の西北部に位置し、東北は上士幌町、東は士幌町・音更町に接し、南は芽室町、清水町で西は新得町に設置しており、総面積 404.69km² を有している。人口は約 5,800 人、世帯数は約 2,400 世帯、高齢化率は約 24.6% で、全国平均を上回っている。

（2）地域公共交通の概要

地方路線バス

鉄道が無い本町の地方路線バスは、帯広市から鹿追市街への「鹿追線」、帯広市から鹿追市街を經由し新得町への「新帯線」、帯広市から鹿追町然別湖への「然別湖線」、鹿追町内の鹿追市街と瓜幕市街を結ぶ「瓜幕線」と4路線があり、全て北海道拓殖バス株式会社により運行されており、町内唯一の公共交通機関となっている。

| | 主な利用者など | 便数 / 日 |
|------|-------------------------------------------------------------|--------|
| 鹿追線 | 帯広市、音更町への通院、通学、買い物など高齢者、学生にとって欠くことのできない交通手段 | 3 便 |
| 新帯線 | 「鹿追線」と同様のほか、JR 新得駅へのアクセス | 4 便 |
| 然別湖線 | 「鹿追線」と同様のほか、瓜幕市街住民と帯広市を結ぶ唯一の公共交通機関。年間約 60 万人が訪れる然別湖への観光客の足。 | 4 便 |
| 瓜幕線 | 瓜幕地区の高校生の、鹿追高校への通学の足。 | 1 便 |

公共交通空白地域

鹿追町の大部分を占める、地方路線バス沿線以外の地域は、公共交通空白地域となっており、農家地区については、町営スクールバス、患者輸送バスにより、その空白を補っている。

鹿追市街地地区においても公共交通空白地域は多く存在し、高齢者などの通院、買物の足に支障をきたしている現状である。

| | 主な目的・運行形態等 | 運行回数 |
|--------|----------------------------------------------------------|--------------------|
| スクールバス | 小学校児童（5校）及び中学校（2校）の通学対策として、町内ほぼ全域を網羅する形で6台（直営4台、委託2台）を運行 | 午前：1 便 午後：2～3 便 |
| 患者輸送バス | 町立国民健康保険病院への通院患者の送迎を行うため、町内を4地区に分けて運行 | 週：3～4 回 日：1～3 便 |

(3) 問題・課題

地方路線バス利用の低迷

地方路線は各便、1日1～4便の頻度で運行されているが、少子高齢化、過疎化により乗車率は年々減少している。地方路線バスの維持のため、町で補助金を交付し、町の財政を圧迫しており、将来、地方路線バスの維持が困難になることが懸念されている。

町営スクールバス、患者輸送バスの利便性、効率性の向上

公共交通空白地域を補うために、町営スクールバス及び患者輸送バスを運行しているが、「町の財政負担」と「住民の利便性・ニーズ」のバランスをとり、より効果的で効率的な運行を検討する必要がある。

公共交通空白地域から中心地への交通整備

鹿追市街地地区においては、公共交通空白地域が多く存在しており、高齢者の通院、買物の足に支障をきたしており、鹿追市街地区の住民ニーズの把握とデマンド型交通あるいはコミュニティバスの可能性を検討する必要がある。

その他

バス利用の目的が通院、通学が中心となっているが、町の活性化と連動を図り、買物、文化活動、福祉の増進、あるいは観光振興など住民生活に密着し、かつ産業振興に寄与する方策を検討することが急務である。

また、これからの町の人口推計、高齢化率に基づき、多様化するニーズに対応する、より効果的、経済的な公共交通のあり方と運行方策を検討し実現する必要がある。

3 地域公共交通総合連携計画策定調査の必要性

鹿追町では、公共交通は地方路線バスに依存している状況であるが、自家用自動車の普及により年々利用者が減少し、町の財政を圧迫している。

しかし、地方路線バスは日常生活の足としては欠くことができず、利用拡大のための効果的な運行体系、本数などについて、検討し活性化を図る必要がある。

また、鹿追町は「然別湖」を中心とした観光の町でもあり、周辺では都市と農村の交流を促進するグリーンツーリズムも盛んに行われている。観光客の足としても地方路線バスは非常に重要な役割を果たさなければならないと同時に、トップシーズンの交通渋滞緩和や環境対策としても、新たなサービスや魅力を構築し利用拡大を図る必要がある。

更に、地方路線バスルート上には、陸上自衛隊鹿追駐屯地が存在していることから、隊員の通勤利用のニーズを確認し、バス利用を促進することも検討する必要がある。

過疎地域にとって、定住、移住促進対策に鑑みても、地域住民の利便性の向上は、重要な課題であり、地方バス路線の確保はもちろんのこと、スクールバス、患者輸送バスなどの利便性や利用価値を向上することで、バス利用を活性化する必要がある。

スクールバス、患者輸送バスの町営バスについては、住民にとって利便性及び利用価値を高めた運行計画の再構築のため、町内路線のルート及び運行時間の検討、通勤、通学、買物など住民生活に密着する、帯広～鹿追間の地方路線バスとの接続時間等の検討、病院、公共施設、買物など町の中心地へ的高齢者の足を確保するためのデマンド型交通あるいはコミュニティバスのあり方など、住民が生涯安心して暮らせる魅力ある町づくりのため、住民、行政、公共交通

事業者などと連携し、一体となって取り組んでいくことが重要である。

上述した、公共交通の利用拡大に向けた検討と利用者に向けた新たなサービスの提供を行い、自家用自動車から公共交通への転換を図ることを目指すため、地域公共交通総合連携計画を策定する必要がある。

4 業務内容

本業務に関する業務内容は次に示すとおり。

また、業務内容の実施に当たっては、十分に事務局担当者と内容を協議のうえ実施すること。

| 名 称 | 内 容 |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)現況交通実態調査 | バス路線網、運行時間等の整理 通勤、通学の実態調査（鹿追町～帯広市・音更町） 現在までのバス利用状況の把握 鹿追町におけるバス路線、運行等の変遷整理 |
| (2)利用者ニーズ把握調査 | 住民アンケート調査（公共交通利用状況、需要調査、現在の利用交通手段調査） 地方バス路線利用者の目的、行き先、利用状況（時間帯、頻度）調査 市街地以外の町営バス路線経路に居住している住民の移動実態と交通手段の利用状況、及びデマンド交通、コミュニティバスの利用意向調査 市街地住民の移動実態と交通手段の利用状況、及びデマンド交通、コミュニティバスの利用意向調査 公共交通空白地域における潜在する交通ニーズの把握 帯広～然別湖間の観光客の地方路線バス利用促進と鹿追駐屯地の通勤利用（エコ通勤）促進などの利便性の向上と利用拡大のための調査 |
| (3)試験運行による調査 | 市街地内及び市街地以外の公共交通空白地域における利用ニーズを把握するため、乗合タクシー、コミュニティバスの試験運行 |
| (4)地域公共交通総合連携計画素案作成 | 地方路線バス運行体系の検討 ・運行体系、本数など、通勤、通学、然別湖観光利用などに配慮した再編計画 ・然別湖への観光客の呼び込みと町内2つの「道の駅」及び商店街への呼び込みにより地域活性化を図る方策 町営バスの運行体系再編の検討 ・効率的かつ経済的な町営バス運行計画、車両計画の検討 デマンド交通、コミュニティバスの導入の検討 ・効率的かつ経済的な運行シミュレーションと将来の需要分析 事業収支及び将来像 ・町内全体の公共交通運行計画と将来ビジョン ・財政負担シミュレーション |

5 調査にあたっての留意事項

調査の実施において疑義が生じた場合には、担当職員と十分協議すること。

また、打合せ協議実施及び協議会開催等にあたり、必要に応じて来庁、出席すること。

6 履行期間

契約締結の翌日から平成22年2月26日まで。

7 成果品

提出すべき成果品及び部数は以下のとおりとする。

報告書及び成果品の一切の著作権は鹿追町地域公共交通活性化協議会に帰属する。

- | | | |
|-----------------|---------------|-------------------|
| (1) 調査報告書 | 紙媒体 (A4 版製本) | 50部 (50頁程度) |
| (2) 調査報告書 (概要版) | 紙媒体 (A4 版折込) | 50部 (10頁程度、カラー印刷) |
| (3) 電子媒体 | CD-Rにて、それぞれ提出 | |
| | ・ 調査報告書 | ワード、エクセル等で作成 |
| | ・ 調査報告書 (概要版) | パワーポイントで作成 |
| | ・ 各種、調査データ等 | |